

2024年12月15日

(朝10:30-11:30)

聖日礼拝

司会 城尾マコト

前奏	全員黙祷 「新聖歌23番」	ヒムプレヤー
招詞	ヨハネ3章16節	司会者
頌栄	「新聖歌 60番」	ヒムプレヤー
主の祈り	(プログラムに印刷)	全員
使徒信条	(プログラムに印刷)	全員
交説文	52番 ルカ1章869頁	司会者・全員
聖書	マタイ5章38～39節	司会者
讃美歌	新聖歌 209 慈しみ深き	ヒムプレヤー
祈祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美484番	ヒムプレヤー
讃美歌	新聖歌 82 牧人羊を	ヒムプレヤー
メッセージ	「イエス様を心に迎える」	城尾淳一
讃美歌	新聖歌 221 ああ主の瞳 証とお知らせの時間	ヒムプレヤー
献金	新聖歌 55番	
頌栄	新聖歌 63番	
祝祷		城尾マコト牧師
後奏	全員黙祷 新聖歌 59番	



Youtube



Facebook

今週のお話の要約

イエス様を心に迎える

イエス様は、私たちの罪を救うためにこの世に生まれてくださいました。しかし、その救いの方法は非常に厳しく、十字架という残酷な刑罰を通して成し遂げられました。イエス様は、私たちが本来受けるべき罰を代わりに背負い、一度きりの完全な贖いを成し遂げられたのです。

昔、人々が罪を赦されるためには、動物をいけにえとして捧げる必要がありました。しかし、これは一時的な解決であり、罪を完全に取り除くことはできませんでした。それに対して、イエス様は十字架の上でご自分を聖なる供え物として捧げ、全人類の罪を一度で完全に赦してくださいました。

「信じる」というのは単なる知識ではありません。「わたしの罪のためにイエス様が十字架に掛けられた」という事実を心の底から感謝し、イエス様を救い主として受け入れることです。神様の愛と赦しを信じ、感謝の気持ちをもって歩むことが大切です。

また、クリスマスは、イエス様の誕生を喜び感謝する日です。私たちの心に光を届けるために、この世に来てくださったイエス様を、私たちの心に迎え入れましょう。

聖書に書かれている「右の頬を打たれたら左の頬を向けなさい」という教えも、単に非暴力を意味するものではありません。それは、復讐ではなく愛と赦しを選ぶことの重要性を教えています。イエス様ご自身も十字架の上で人々の悪意を受け入れ、赦しを示されました。

日々の生活の中で、家族や友人に感謝の言葉を伝えたり、神様に祈ることから始めてみましょう。イエス様を心に迎えるとき、私たちの人生は新しい希望と愛に満たされます。